

Ga-net通信 vol.13



7月19日(日) ガネット造形まつり「ミュージック&クラフト」豊中市 セルシー広場

ごあいさつ

最近電車に乗ると、多くの人がスマホなどで、そこにいない人と通信会話をしている様子をよく見かけます。少しの時間の隙間も惜しんで情報交換をしなければいけないほど忙しい世の中になったのでしょうか。高度情報化社会になり、人類の脳の使い方は、言葉の獲得以来、大きく変化しているそうです。時間感覚、身体感覚、人とのつながり、表現方法など、これまで当たり前と思っていた価値観が崩れ始めています。現代の子ども達はこうした状況下で育っています。それが良いか悪いか別として、これからの社会を生き抜く子ども達に、美術教育としては何が必要なのか、改めて考えさせられます。ひとつ言えることは、子ども達が、絵を描く画面やモノに向き合い続ける時間には、これからの社会を生きる上で大切な思考力、感じる力、表現する力が育っていることは間違いありません。

さて、色々な意味で変革の時代、地域の造形・絵画教室の皆さんとの情報交流として、ガネット通信をお送りします。今年度も皆さんの教室の子ども達が創造の喜びに満たされ、ひとりひとりの幸せにつながることを切に願っております。

絵画教室ネットワーク・ガネット代表 栗山 誠

2016年度 講座予定

日程	内容	会場
6月26日(日)	前半：ガネット造形まつり/夏休み工作研究 提案：北田絵里子(絵画造形教室らぴす) 後半：ガネット描画材と用具のフリーマーケット 8月28日(日)のガネット造形まつりで実施する造形カリキュラムを提案、参加者で検討します。 まつり当日の参加予定スタッフでなくとも、いっしょに研究しましょう。	ガネット事務局 (キッズクラフト・アトリエ)
7月31日(日)	描画の研究～実際の作品から コーディネイター：赤座雅子(キッズクラフト) 子ども達が楽しく、創造的に制作できる環境づくりも考えてみましょう。 皆で作品を持ち寄って導入や指導、言葉がけについて研究し、リレー実技をします。	サクラクレパス本社ビル
8月28日(日)	ガネット造形まつり	リック羽曳野(羽曳野市軽里)
11月6日(日)	『クリスマス、サンタさんの長靴』工作 描画の研究リレー実技～作品展から 講師：井口朋子(アトリエこもど)	サクラクレパス本社ビル
2月	東京ガネット ★日程、場所は未定ですが、東京周辺で集まることを予定しています。	
4月30日(日)	ガネット研究会in造形絵画教室ぱんぷきん 実技『マーブリングデコ』 講師：村中久美子	造形絵画教室ぱんぷきん (堺市西区上野芝町)

◆第1回講座 2015年6月28日(日)

『夏休みの工作～廃材楽器でコンサート /ワークショップを開こう!』



7月のガネット造形まつりに向けて、廃材楽器の工作を研究しました。

◆第2回講座 2015年7月19日(日)

ガネット造形まつり

「ミュージック&クラフト」豊中市 セルシー

あすなる絵画研究所の森さん宇野さん。マコト絵画教室の江口さん、森田さん、亀沢さん。アートハウスの山井さん。神戸のアリス、武安さん、事務局赤座の8名が参加。モンゴルの可動式住居、ゲルを建て、その中で廃材楽器を制作した子どもたちが、激団モンゴイカさんのリードで、ステージに上がり演



奏し、ハーメルンの笛吹きよろしく、会場を練り歩きました。

7/19日

参加無料・先着60名様

みんなでつくろう!
リサイクル楽器演奏会

●時間 / 13:00~17:00 ●小冊決行 ●場所 / 1F セルシー広場

当日のセルシーご利用レシート1,000円(税込・合算可)以上のご提示で、お一人様一回ご参加頂けます。不要のペットボトルやスチール缶などをお持ちください。

※小学生以下は保護者同伴
廃材を使った自分だけの楽器を絵画教室の先生達と作ってみよう! 激団モンゴイカと子ども達が一緒にライブ演奏。

対象年齢:幼児(保護者同伴)から小学生
(協力)絵画教室ネットワーク ガネット

◆第3回講座 10月4日(日)

『子どもの絵の発達と心理』

講師:辻 大地 氏(子どもアートスタジオ)

前半はローエンフェルドやヴィコツキー、ピアジェなど美術教育の主要な流れを持つ人物と書籍の概要を分かりやすく紹介して頂きました。後半はご自身の教室の子どもの作品を例にあげ、実技を交えて発達や心理について話され、その後は参加者の質問に答えるという構成でした。



◆第4回講座 2015年12月28日(月)

『実技研究inマコト絵画教室甲子園アトリエ』

講師:江口真琴/亀澤直子

(マコト絵画教室)

講師:武安まき/福井映子

(神戸子ども造形絵画教室アリス)

第一部は神戸の絵画造形教室アリスの武安牧さんと福井映子さんによる、動く獅子舞の紙工作。準備のきめ細やかさ、苦勞が参加者を唸らせた。ストローで動かす仕組みですが、怖い顔が可愛らしく頭を振ります。



第二部はマコト絵画教室代表の江口真琴さんと亀澤尚子さんによる子どもの油絵指導について。小さなキャンバスとイーゼルを準備して子どもを想定した言葉かけや導入を交え実技研究をしました。

◆第5回研究会 2016年4/24(日)

実技研究inアトリエCOLO

立体紙工作「冒険アイテムをつくろう!」

講師:中西純子(アトリエCOLO)

黒いボール紙で「ケブラー式」のさかさま望遠鏡を作り、その世界を覗いてみました。少し手間のかかる工程ですが、幼稚園年長さんも物差しを駆使して完成させるそうです。ゆっくり手作りの気持ちが地域にも伝わり、最近では90歳の生徒さんが入会。手作りのアトリエは暖かさを感じます。



少人数ならではの質問が飛び交い、ティータイムをはさんだ30分オーバーの研究会でした。

アトリエ訪問 ①

ガネット会員の皆さんはご自身が絵画教室に通った経験をお持ちでしょうか？私自身、改めて気付いたのですが3歳から18歳迄の間に4カ所のアトリエに通っていました。それぞれ異なる空間でしたが、その場所の光や独特の匂い、雰囲気は今でも思い出します。2015年度（2015年6月～2016年5月）のガネットは研究会実技を会員のアトリエで行なわせて頂きました。どんな場所で、どんな風に活動しているのだろう。同業者でしたら興味があるところですよ。関西とひとくりにしても、地域によって随分違います。主宰されている先生のプロフィールや方針にも依ります。皆さんの顔が違いうように、個人の絵画教室はそれぞれ特色があります。

今回の通信では「アトリエづくり」について新人、ベテラン3名にインタビューし、その想いを聴かせていただきました。

◆かなかなファクトリー（大阪府豊中市）



閑静な住宅街に建つ「かなかなファクトリー」。建物自体がアトリエのロゴになっています。



設計デザインしたのは代表のやまもとかなこさん。芸大受験をする際に、話すことが不自由（ろうあ者）な、地域のアトリエの先生と出会いました。やまもとさんは幼稚園児の時に、気持ちよく描いていたみかんの木が「大きく描けていない」という理由で絵画指導の先生に上描きされ、大人のなす理不尽さを経験しました。地域のアトリエの先生は高校の美術の先生とも異なりました。合否の基準で制作した作品を評価せず、否定しない、いい面を見つけて励ます指導をしてくれたということです。この先生の出会いがその後のやまもとさんの活動に影響したように感じます。



大学卒業後にインテリアデザイナーとして働く中、阪神大震災を機に退社。ニューヨークに渡り版画を学びます。帰国してから現在も自らのアトリエを運営し、障がいをもつアーティストを世界的に輩出しているアトリエ・インカーブの講師も勤めています。

大人の書道教室もされていて、ずいぶん器用な方なのだな、とお見受けしていました。

けれどもお付き合いしているうちに障がいの有る無し、年齢、国籍、ジャンルに関わらない表現の自由を楽しんでいる人であることに気付きました。

この先もやまもとさんの枠にはまらない「ファクトリー」から、どんなものがつくられるのでしょうか。

◆マコト絵画教室（兵庫県西宮市甲子園口）

2015年秋に「ギャラリーこもれび」と併設したカフェをオープンした江口真琴さん。



美大生時代、高額な貸し画廊に痛い想いをしてきました。いつか低価格でいろんな人が気軽に展示できるスペースをつくりたい。

そして歳をとった時のこと、親の将来・・・いろいろ考えるうちに「元気に動ける今

がやる時！」と自分自身で決意を固め、ギャラリー計画をスタートさせました。

緑豊かなこもれび溢れる場所に建てたい。

様々な物件を探して見て回りました。

そうしたところ、ある不動産会社が、「ここにしたら」と亡くなった実のお父様が所有していた事務所を提案してきました。



JR線路前でイメージとかけ離れているので納得いかなかった時間がありました。

同じ建物で絵画教室をしていることもあり「いいんじゃない？」と賛成してくれる声も増えてきて、灯台下暗し、だんだんその気になってきたところイメージを実現

化する大工さんも見付き、半年近く掛けてオープンへ。

年末にはガネット研究会と忘年会も開きました。

今年は名誉会員でポーロニャ絵本展に2年連続入選したたけうちひろさんの個展を9月に予定しています。絵画教室とギャラリーとカフェ、同じ建物に作品と人が集まる場所ができた江口さん。会員の皆さんに「自宅や倉庫の一部など、見方を変えると意外といいスペースになるかも知れませんよ。」と経験者ならではのアドバイスがありました。

アトリエ訪問 ②

◆アトリエCOLO (コロ) 神戸市大開

幼かった頃に遊んだり、絵を描いたりしたことを克明に記憶しているという中西純子さん。「あの頃」を忘れず大切にしたいという想いから「コロ」とアトリエを命名したそうです。

大阪芸大を卒業後、神戸にある私学高校美術科の非常勤講師として働く3年のあいだに、生徒の作品を点数で評価する仕事が自分の心の中で納得いかなくなってきました。講師を辞めて地域の絵画教室に修行。偶然にもガネット会員のマコト絵画教室さんでした。そして独立。アトリエは築年数を経た一戸建てでしたが、手作りDIYも含めた修復工事を行って、4ヶ月後に「コロ」の看板を出すことができました。



4月の研究会実技『冒険アイテムを作ろう！～ケプラー式望遠鏡』では、子ども達がわくわくドキドキするお話（導入）からはじめます。長定規を使ったり、ミリ単位でのカット作業があるにもかかわらず、幼稚園年長さんでも最後迄作り上げたそう。それは中西さんのドキドキが子どもたちの意欲を後押ししたのでしょう。作った望遠鏡は覗くと映像が反転します。その絵を描く活動もしたそうですが「そういえば子どもたちの作品の記録がない！」と大笑い。できた作品を保護者に見せることよりも制作の過程が大事、という中西さんらしいエピソードです。

先日、生徒のお父さん（フランス人）から「coloとは仏語で親から離れて自立して過ごす時間～holiday campのことなんですよ。」と聞いて嬉しいオドロキをもらいました。

オープン3年目を迎え、最近では「コロに行っていて来るね。」「コロの帰りなのよ。」「コロってなんなの？と聞かれるように。90歳の新入生も迎え、ますます賑やかになりそうです。

「アトリエCOLO神戸」で検索してください。1ページの中に教室の内容が分かりやすく納められていますので参考にご覧下さい。



●編集後記● 赤座雅子

私自身も今年、自宅一階の車庫をリノベーションしてアトリエを作りました。



会員を訪問してきたので自宅で開くことの長所短所を、さまざま拝見してきました。それまで借りていた集会所は安くて広くて明るくて、文句がないものでした。それでもアトリエをつくるきっかけとなったのは大貫

先生（あすなる絵画研究所）をお見舞いしたことに一因していると思います。

亡くなる少し前まで教室活動し、ご自身が学んで来たことを活かされていました。時を違えず私の

母と姑も見送り、最後迄やることがある、やる意義のある仕事ってなんだろう、と考えさせられました。

マコト絵画教室さんにはギャラリー建設中に何度か視察に伺い、なかなかファクトリーさんにも他にはないアドバイスをいただきました。

3年近く工務店等を探しました。奈良美智や横尾忠則など美術館の施工の仕事をしている方にたまたま出会い、今年の3月にアトリエが何とか形になりました。



ガネットを始めて13年になります。小さい集まりではありますが、同業者ならではの話題に毎回盛り上がりを感じます。昨年訪問した静岡のニケさん、とっぼさん。東京赤羽の杉浦さん 墨田区の木村さん、お会いすると共通するものがあり、初対面と思えませんでした。今年は関東方面でもう少しお声を掛け、東京ガネットを開催してみたいと考えています。また事務局は大阪駅から近いので、関西にお越しの際には、みなさんどうぞお立ち寄り下さい。呼んで頂けましたら可能な限り伺うつもりです。今後ともより豊かなネットワークを育てていきたいと思っております。本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

Ga-net 事務局 赤座雅子

HP : ga-net.jp Email : kaiga@ga-net.jp

〒532-0025大阪市淀川区新北野2-1-16

Tel : 06-6302-8344(10時～16時)